

## アメリカ大統領選挙関連

NHK SPECIAL  
スペシャル

G

## アメリカ大統領選 分断の行方(仮)

11月1日(日) 総合 午後9時~9時49分

アメリカの大統領選挙がかつてない異常事態となっている。「新型コロナウイルスの感染拡大」と「人種差別への抗議運動の高まり」という未曾有の危機を通して、改めて、トランプ大統領の4年間で深化した「社会の分断」が顕在化。トランプ大統領は、逆風が吹き、支持率で後れをとる中、「経済優先」の姿勢を訴えることなどで、最後の巻き返しを図っている。こうした中、支持者の一部は、郵便投票などを巡って「民主党は不正を企てている」として、選挙を監視しようという動きが加速。マイノリティーの有権者に圧力をかける可能性も指摘され、分断が一段と深まっている。

対するバイデン前副大統領は「分断を克服して融和を」と呼びかけ、都市部を中心に支持を集めているものの、社会の分断は、ここにも異変をもたらしていた。従来、民主党支持者が多くを占める若者たち、とりわけ、根強い人種差別に怒りの声を上げている若者たちの間で、政治への「不信感」が高まり、民主的な選挙ではなく、抗議活動を行っていくしか社会を変えられない、という機運が高まっているのだ。



果たして、国民はこのまま「分断」の道を突き進むことを選ぶのか、それとも踏み止まって「融和」の理念を取り戻すことを選ぶのか。前回の大統領選挙で勝敗を分け、今回も激戦になるとみられるラストベルト・ミシガン州にカメラを据え、コロナ禍という異常事態の中で、歴史的な岐路に立つアメリカの「今」を浮き彫りにする。

## BS1スペシャル ザ・リアル・ボイス

～ダイナーからアメリカの本音が聞こえてくる2020～(仮)

11月1日(日) BS1 午後10時～11時49分(途中ニュース中断あり)

世界の人々の“本音＝リアルボイス”を、大衆食堂を訪ねて聞いていくシリーズ「ザ・リアル・ボイス」。今回は、大統領選挙で揺れるアメリカの庶民の本音をダイナー（食堂）で聞く



「労働者の街で聞く・新大統領に期待することは？」「コロナと生きる未来とは？」などのテーマについて、今議論が沸騰している街を選び旅する。コロナ禍で取材の制限が大きいので、リモートで操作できる“ディレクター分身ロボット”を派遣。セグウェイにタブレットを装着したロボットを通して日本から直接インタビューし、アメリカの人々の本音を引き出す。

## BS1スペシャル 市民が見たアメリカ大統領選挙

11月8日(日) BS1 午後10時～10時50分

今回の大統領選挙で、勝敗の鍵を握るといわれるのが、1980年代から2000年代初頭に生まれた「ミレニアル世代」の若者。リベラル志向で、有権者のおよそ4割を占めるといわれる。

若者たちが動けば、民主党候補のバイデン氏に大きな票が集まる。一方、トランプ大統領を支持する保守系の若者たちも声を上げ始めている。誰に投票すべきか決めかねている若者も多い。番組では、アメリカ各地のミレニアル世代の若者たちを取材。彼らの暮らしや抱える問題をスマホなどで日々記録してもらおう。若者たちはどういう選択をするのか、有権者の肉声を通して探る。



## 開票速報

11月4日(水) 総合・BS1 時間未定